

第5期雄武町総合計画後期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	4	うるおい・雄武	整理番号	55
基本施策	15	環境の保全	評価	住民生活課長 淡路至尊
単位施策	2	地球環境保全対策の推進	責任者	産業振興課長 横田和幸

1 施策の概要

基本方針	地球環境保全意識を啓発するとともに、公共部門が率先してクール・ウォームビズやグリーン購入など具体的な行動を実践し、まちぐるみの取り組みにつなげます。	
現状と課題	【現状】（平成23年度末）	【現状】（平成26年度末）
	普段の生活の中で気軽に実践できる環境対策について、行政が率先して行動し、住民の環境意識高揚を図った。	住民に対しては、地球温暖化につながるCO2の削減を呼びかけるとともに町民植樹祭を行い、緑化環境の保全に努めるとともに、行政においてもクールビズや節電に努め、閑居保全に寄与している。
	【課題】（平成23年度末）	【課題】（平成26年度末）
	小さな行動の積み重ねが、地球規模の環境保全に繋がることを再認識し、まちぐるみでの環境保全運動に広げていくことが求められている。	住民が気軽に取り組める環境保全やCO2削減に伴う活動の紹介を行い、まずは、学校、職場、自治会といった関係機関から、やがて全町的な取り組みに広げる活動が必要と思われる。

2 基本施策指標

指標1	指標名							
	定義等							
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）	
	目標値							
	実績値							
指標2	指標名							
	定義等							
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）	
	目標値							
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）	
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）	
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）	
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）	
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値（H29）	
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	26年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策 への貢献 度
①	【再掲】みどりと親しむ町民のつどい	林務係	1,124	A	継続/現状維持	A
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	環境保全については、まずは行政が率先して行動し、住民に意識の高揚を図らなければならない。
② 有効性	A	グリーン購入やクールビズ・節電等行政が取組むことが、住民の意識を植え付ける意味において、有効である。
③ 効率性	A	グリーン購入など過度な財政負担にならぬよう、効率を図った。
④ 公平性	A	良好な環境を造り出し、それを享受することは、全住民の義務及び権利である。
⑤ 町民意見の反映	B	特に町民の意見を聞く場は設けていないが、環境保全に係る意見については、可能なことから対応している

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
クールビズや節電等に努めるとともに町民植樹祭を実施し、町民を巻き込んだ取組みを行なった。	同 左	

今後の方向性

継続/現状維持	継続/現状維持	
行政が行なう施策等を引き続き取組みながら、住民が気軽に実践できる環境対策の事例の啓蒙に努めることが必要である。	同 左	

*今後の方向性の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○終了 ○休止 ○廃止